

Fight !



たしざんをしましょう。

$$1 + 8 =$$

$$6 + 8 =$$

$$2 + 8 =$$

$$7 + 8 =$$

$$3 + 8 =$$

$$8 + 8 =$$

$$4 + 8 =$$

$$9 + 8 =$$

$$5 + 8 =$$

$$3 + 8 =$$

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
---	---	----	----	----	----	----	----	----	----

たしざんをしましょう。

$$5 + 8 =$$

$$6 + 8 =$$

$$9 + 8 =$$

$$1 + 8 =$$

$$2 + 8 =$$

$$4 + 8 =$$

$$3 + 8 =$$

$$8 + 8 =$$

$$7 + 8 =$$

$$5 + 8 =$$

8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

せん
線でむすびましょう。

なまえ

ほね お ぞん
骨折り損の

たね
まかぬ種は

ま ご
馬子にも

ま
負けるが

ま かいろ
待てば海路の

か
勝ち



ひ より
日和あり



は
生えぬ



くたびれもうけ



い しょう
衣装



せん
線でむすびましょう。

ま
負けるが

ひ より
日和あり



ま かいろ
待てば海路の

い しょう
衣装



たね
まかぬ種は

か
勝ち



ほね お ぞん
骨折り損の

くたびれもうけ



ま ご
馬子にも

は
生えぬ



せん
線でむすびましょう。

なまえ

ま かい ろ
待てば海路の
ひ より
日和あり

ま か
負けるが勝ち

ま ご い しょう
馬子にも衣装

ま たね
まかぬ種は
は
生えぬ

ほね お ぞん
骨折り損の
くたびれもうけ

ま か
負けたようでも勝っちゃった



いつかチャンスがあるさ



どりよく けっ か
努力をしないと結果は
でないよ



くろう
苦勞ばかりでいいことが
ないなあ



とてもりっぱに見えるよ



線^{せん}でむすびましょう。

まかぬ種^{たね}は
生^はえぬ

骨折^{ほねお}り損^{そん}の
くたびれもうけ

待^まてば海路^{かい ろ}の
日^ひ和^{より}あり

負^まけるが勝^かち

馬^ま子^ごにも衣^い装^{しょう}

苦^く勞^{ろう}してやったのに、何^{なん}の
効^{こう}果^かもなく疲^{つか}れて終^おわる。



身^みなりを整^{ととの}えれば、みな
立^{りつ}派^ぱに見える。



無^む理^りして勝^かつより、勝^かちを
譲^{ゆず}ったほうが得^{とく}になる。



待^まっていれば、いつかは
幸^{こう}福^{ふく}が訪^{おも}れるものである。



何^{なに}もしないで良^よい結^{けつ}果^かを
期^き待^{たい}しても無^む理^りである。



なまえ

かけざんをしましょう。

$$9 \times 1 = 9$$

$$9 \times 2 =$$

$$9 \times 3 =$$

$$9 \times 4 =$$

$$9 \times 5 =$$

9	18	27	36	45
---	----	----	----	----

かけざんをしましょう。

$$9 \times 5 =$$

$$9 \times 6 =$$

$$9 \times 7 =$$

$$9 \times 8 =$$

$$9 \times 9 =$$

4 5

5 4

6 3

7 2

8 1

せん
線でむすびましょう。

なまえ

きり
霧ながら

きく
菊ほのかなり
みず
水のあと



お
起きあがる

け
今朝
さ
見
み
人
ひと
に
ちが
行き違い



めいげつ
明月や

おお
大きな町へ
いで
出にけり



口コモ 11 - 10

せん
線でむすびましょう。

なまえ

めいげつ
明月や

おおきなまちへ
いで
出にけり



お
起きあがる

けさみひと
今朝見た人に
ゆきちが
行き違い

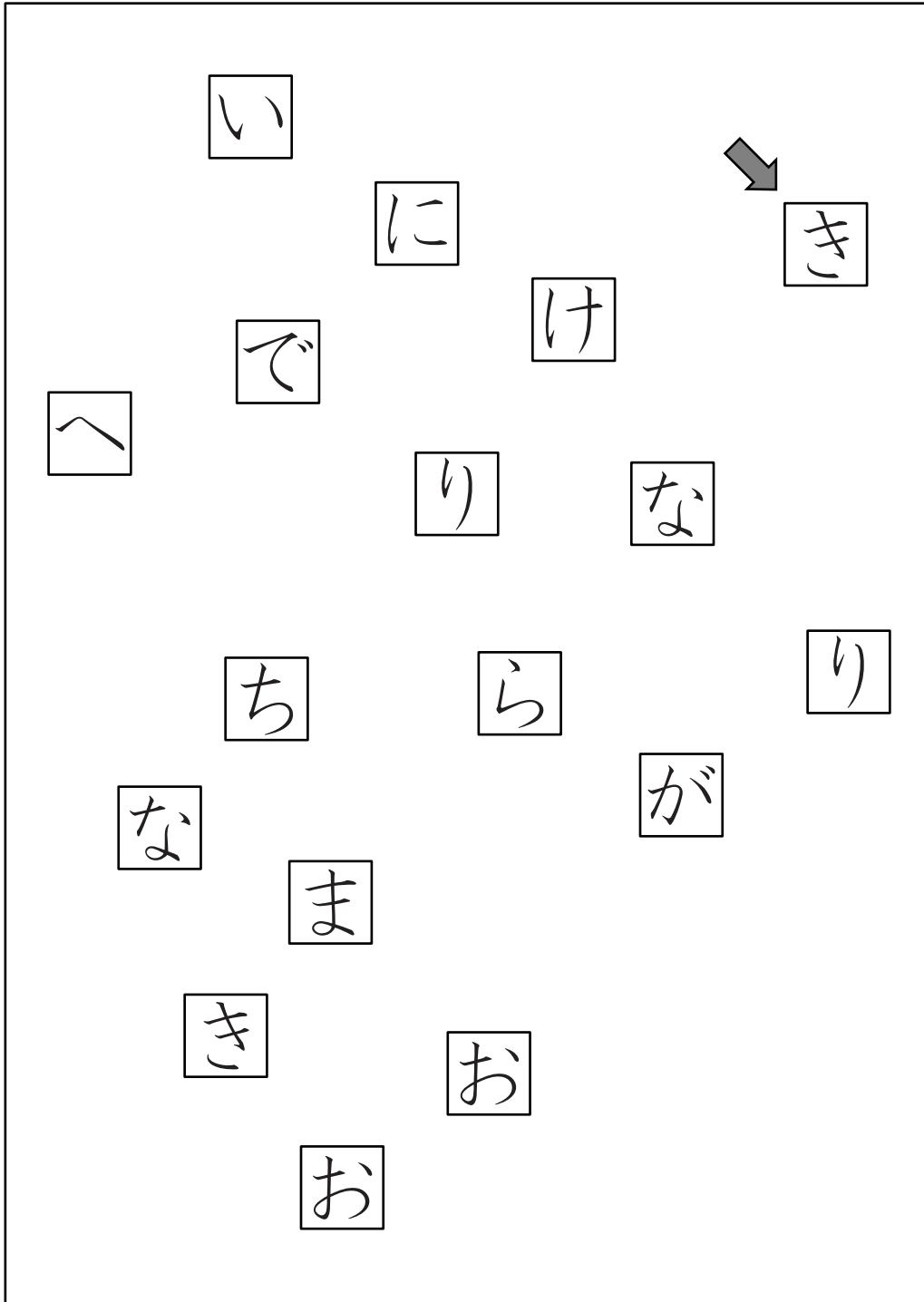


きり
霧ながら

きく
菊ほのかなり
みず
水のあと



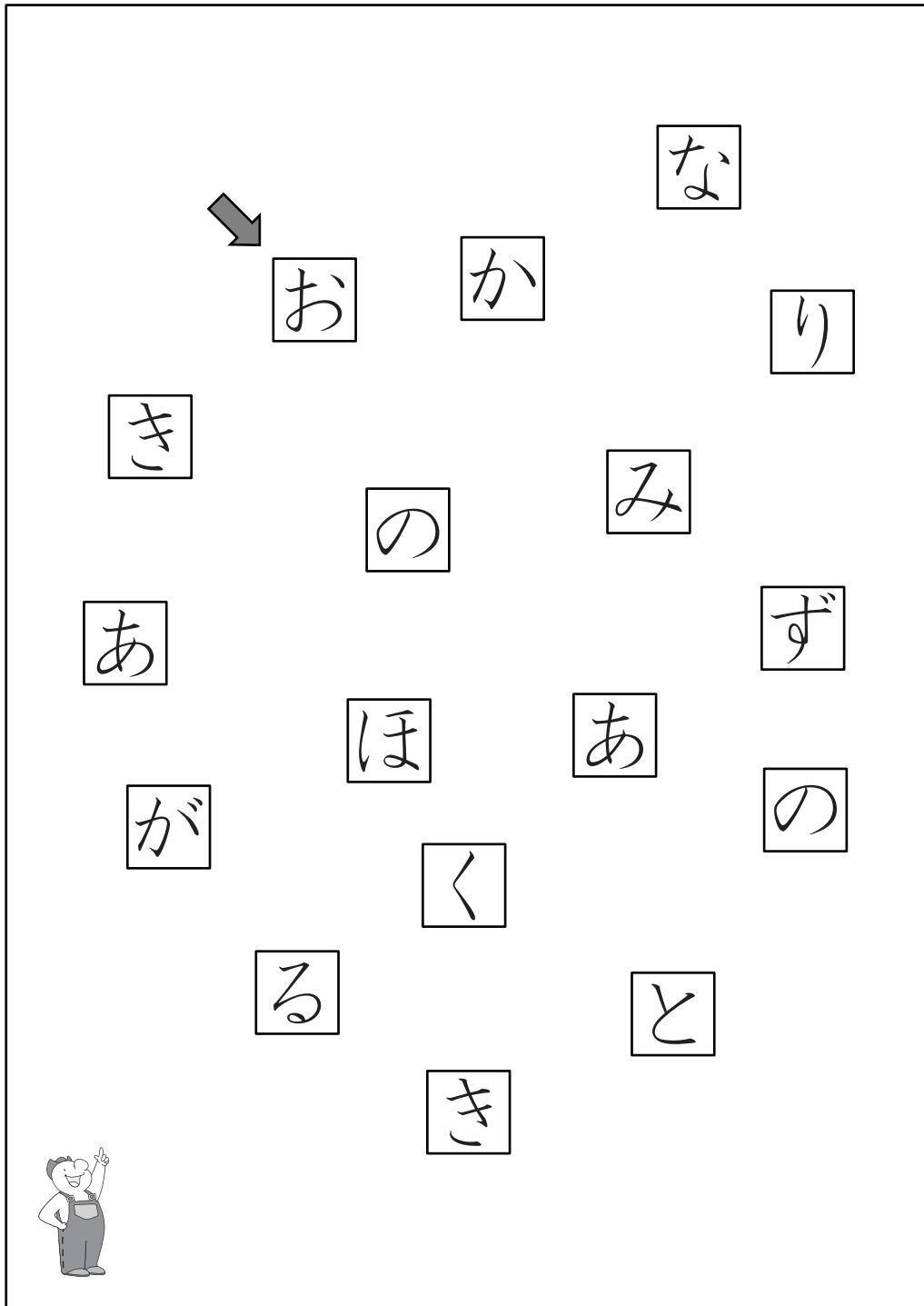
せん
線でむすびましょう。



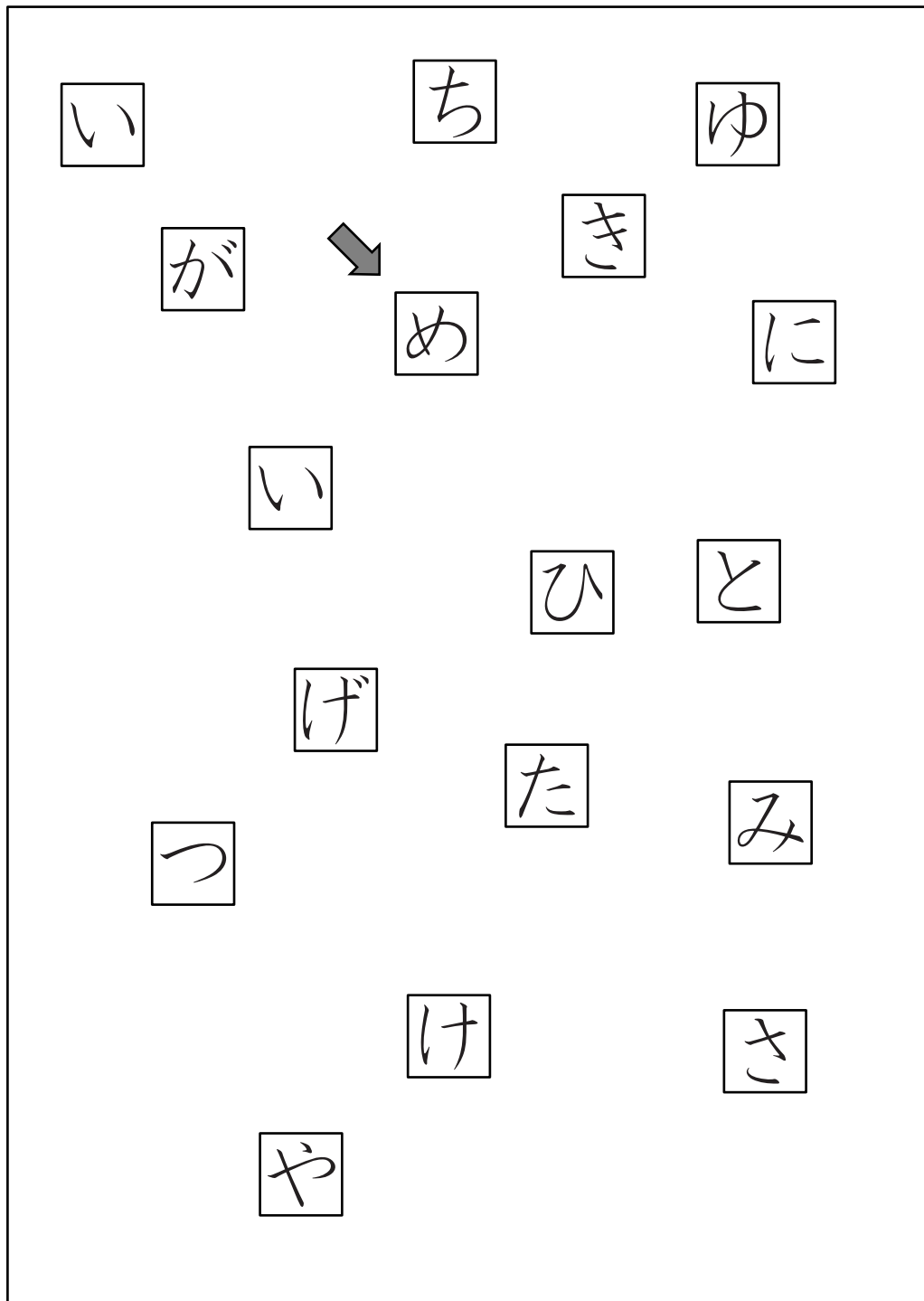
きりながらおおきなまちへ・・・

せん
線でむすびましょう。

おきあがる……



せん
線でむすびましょう。



め
い
げ
つ
や
.
.
.
.
.

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

き
り
な
□
ら

□
お
き
□
ま
ち
へ

い
で
□
け
□

田^た
川^{がわ}
移^い
竹^{ちく}

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

きあがる

きく

のかな

み

の

と

松尾芭蕉
まつお ばしょう

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

め

げ

つ

け

み

た

と

に

ゆ

き

ち

が

与^よ

謝^さ

蕪^ぶ

村^{そん}

ロコモ 11 - 17

せん
線でむすびましょう。

なまえ

いっちょう
一丁

と
り
い



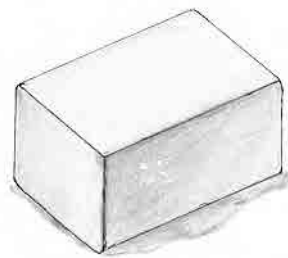
いっ
一基

し
ん
か
ん
せ
ん



いちりょう
一両

と
う
ふ



ロコモ 11 - 18

せん
線でむすびましょう。

なまえ

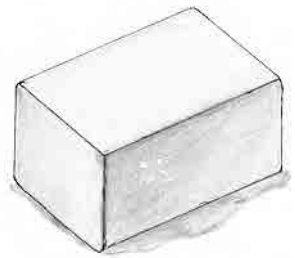
いちりょう
一両

とりい



いっ
一基

とうふ



いっちょう
一丁

しんかんせん



せん
線でむすびましょう。

なまえ

へそ

ま
を曲げる



こし
腰

お
を折る



ほね
骨

す
を据える



ロコモ 11 - 20

なまえ

せん
線でむすびましょう。

へそを^ま曲げる・

とてもがんばった



ほね お
骨を折る・

おちついてやろう



こし す
腰を据える・

ああ、^{おこ}怒っちゃった



せん
線でむすびましょう。

なまえ

こし す
腰を据える

くろう いっしょうけんめい
苦勞して一生懸命やる



ま
へそを曲げる

ものごと じつくりと 取り
組む



ほね お
骨を折る

きげん わる
機嫌を悪くする



なまえ

下^{した}から選^{えら}んで慣^{かん}用^{よう}句^くをつくりましょう。

お
を折る

ま
を曲げる

す
を据える



こし へそ ほね

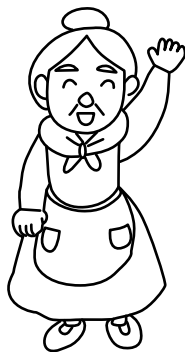
チルチルとミチルに、^{あお}青い^{とり}鳥をさがしてほしいと言^いったのはだれですか？



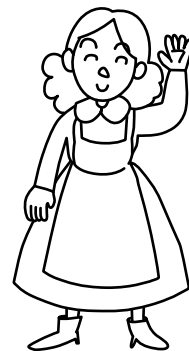
こびと



まほうつかいの
おばあさん



おばあさん



おかあさん

おも で くに であつたまへたあおとり
思い出の国でつかまえた青い鳥はどうなりましたか？



- 1 おも で くに で であつたまへたあかとり
思い出の国を出たとたん、赤い鳥にかわった。
- 2 おも で くに で であつたまへたくろとり
思い出の国を出たとたん、黒い鳥にかわった。
- 3 おも で くに で であつたまへた
思い出の国を出たとたん、にげてしまった。

線^{せん}でむすびましょう。

お ぐらやま
小倉山
みね じ ば ところ
峰のもみぢ葉 心あらば

いま
今ひとたびの
み ゆき ま ん
行幸待たなむ

なつ よ
夏の夜は
まだよい ながら あ 明けぬるを

むかし もの
昔は物を
おも わ
思はざりけり

あ い み
逢ひ見ての
のち ところ
後の心に くらぶれば

つらぬ
貫きとめぬ
たま ち
玉ぞ散りける

しら つゆ
白露に
かぜ ふ あき の
風の吹きしく 秋の野は

くも ず
雲のいづこに
つき やど ん
月宿るらむ

ロコモ 11 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

あ い み
逢ひ見ての
のち こころ
後の心に くらぶれば

つらぬ
貫きとめぬ
たま ち
玉ぞ散りける

しら つゆ
白露に
かぜ ふ
風の吹きしく 秋の野は

むかし もの
昔は物を
おも わ
思はざりけり

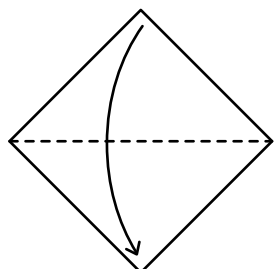
お ぐらやま
小倉山
みね
峰のもみぢ葉 心あらば

くも ず
雲のいづこに
つきやど
月宿るらむ

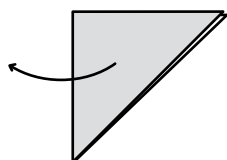
なつ よ
夏の夜は
よい
まだ宵ながら 明けぬるを

いま
今ひとたびの
み ゆき ま ん
行幸待たなむ

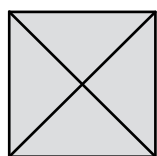
《やっこさん》



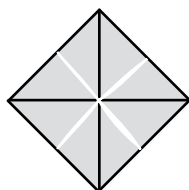
1 さんかくに おる



3 もとの かたち に ひらく



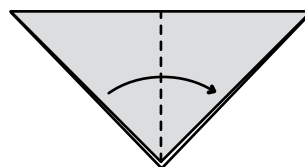
5 うらがえす



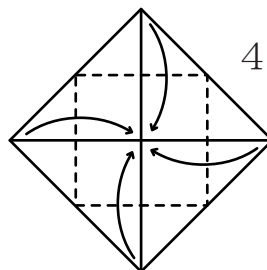
7 うらがえす



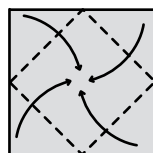
9 うらがえす



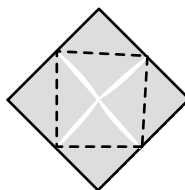
2 もういちど さんかくに おる



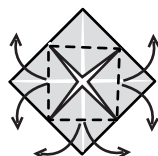
4 それぞれのかどが まんなかに くる ように たにおり する



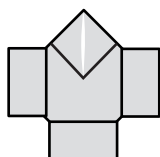
6 もういちど それ ぞれの かどが まんなかに くる ように たにおり する



8 もういちど それ ぞれの かどが まんなかに くる ように たにおり する



10 3かしの ふく ろを おり ひろ げる



11 やっこさんの かんせい